保証とアフターサービス（必ずお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

❶ 保証書	保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。 保証期間はお買い上げの日から1年です。	
❷ 修理を依頼されるときは 出張修理	保証期間中	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
	保証期間経過後	修理のよって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
❸ 補修用性能部品の保有期間	温水洗浄便座の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。	
❹ ご転居されるときは	ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。	
❺ 修理料金のしくみ	修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。	

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご相談窓口

家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87
（受付時間）
9:00〜19:00（365日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739
（受付時間）
9：00〜17：30
携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間が過ぎているときは	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
保証期間	お買い上げ日から本体1年です。

- 「出張修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03（3260）9611　FAX.03（3260）9739

DL940A-QVCP0
CS0410-0

取扱説明書

日立リビングサプライ

保証書別添付　保証書は別についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

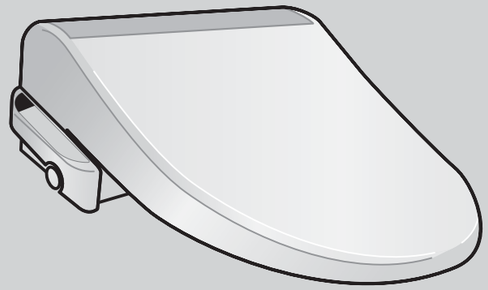
設置工事説明書別添付

家庭用

温水洗浄便座

HOB-3000形

このたびは温水洗浄便座をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは設置工事説明書と保証書とともに
大切に保存してください。



目　次

ご使用前
■安全上のご注意（必ずお守りください）……2
■各部の名前（本体・リモコン）……6
■付属品……7
■ご使用前の確認……8
（アース線の確認/電源ランプの点灯を確認
リモコンの取り付け位置を確認）

使うとき
■脱臭……9
■洗浄をする……10
■調節をする……12
（洗浄強さ/洗浄位置
温水温度/便座温度）
■節電する（節電）……14
（8時間切）……15

必要なとき
■お手入れ……16
■凍結予防・長期間使用しないときは……20
■定期点検……24
■電池交換……25
■Q&A（よくあるご質問）……26
■故障かな?……28
■仕様……30
■温水洗浄便座協議会からのお知らせ……31
■保証とアフターサービス……裏表紙

Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

- この温水洗浄便座は一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。
  思わぬ事故の原因となります。
- 地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお読みいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、過った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください

⚠警告	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ この記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。

⃠ この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。

❗ この記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

⚠警告

電源プラグやコードは正しく使う
（火災や感電の原因となります）

❗
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く
- 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

⃠
- 電源コード・電源プラグを傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない
  →コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。
- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100 V以外で使用しない

本体、本体裏面や電源プラグに水や洗剤などをかけない

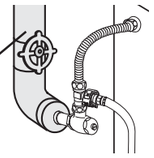
水ぬれ禁止

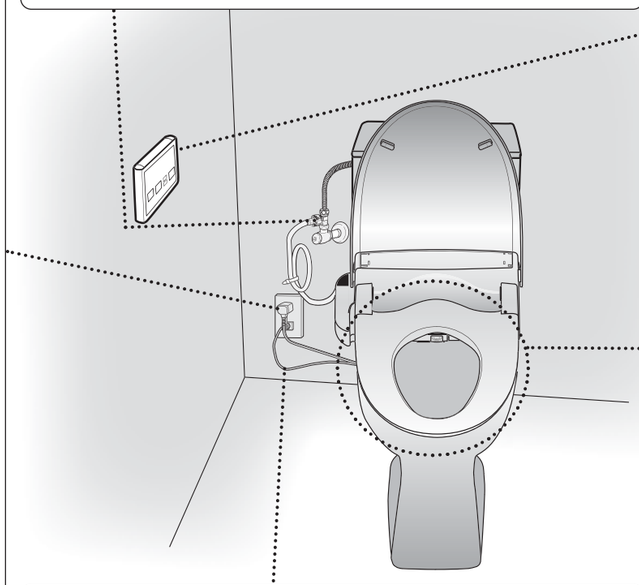
（感電やショートして火災の原因となります）

上水道以外には接続しない

⃠

（ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因となります）





アース工事を確認する

［アース線接続の一例］

アース線接続

（アース工事がされていないと漏電のときに感電する原因となります）
→アース工事を販売店にご依頼ください。

⚠警告

バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない

水場使用禁止

（火災や感電の原因となります）

改造はしない
また修理技術者以外の人が、分解したり修理をしない

分解禁止

（感電や発火したり、異常作動してけがの原因となります）
→修理は販売店にご相談ください。

電池は誤った使い方をしない

⃠
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない
- 乳幼児の手の届くところに置かない

（取り扱いを誤ると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因となります）
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因となりますので、絶対にはがさないでください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

❗

（そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因となります）

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

❗
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因となるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

次のような方が使用するときは、便座の温度調節を「低」または「切」にする

❗

お子様、お年寄り、皮膚の弱い方、皮膚感覚が弱い方、自分で温度調節できない方、眠気を誘う薬（睡眠薬・風邪薬など）を服用された方、深酒、疲労の激しい方

（長時間、皮膚の同じ場所が便座に触れると、低温やけどの原因となります）

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、止水栓を閉める

❗（発煙・発火・感電のおそれがあります）

異常・故障例
- 本体や便座にひびや割れが入っている
- 異常な音やこげ臭いにおいがする
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い
- 本体や操作部が異常に熱い

すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。

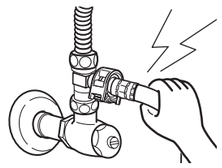
安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠注意

水漏れのおそれ

本体脱着時などに給水ホースに力を加えない

（分岐水栓のナットやクイックファスナーがゆるんで水漏れの原因となります）



水道水フィルター（水抜き栓）を外すときは、必ず止水栓を閉める

（止水栓を閉めないと、水漏れの原因となります）

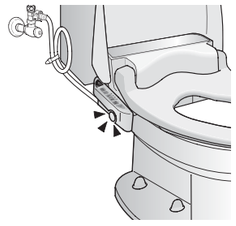
凍結予防をする【20・21ページ】

（凍結すると、配管や本体内部が破損して水漏れの原因となります）

→水抜きなど、凍結予防をしてください。

いったん、外した水道水フィルター（水抜き栓）はしっかり閉める

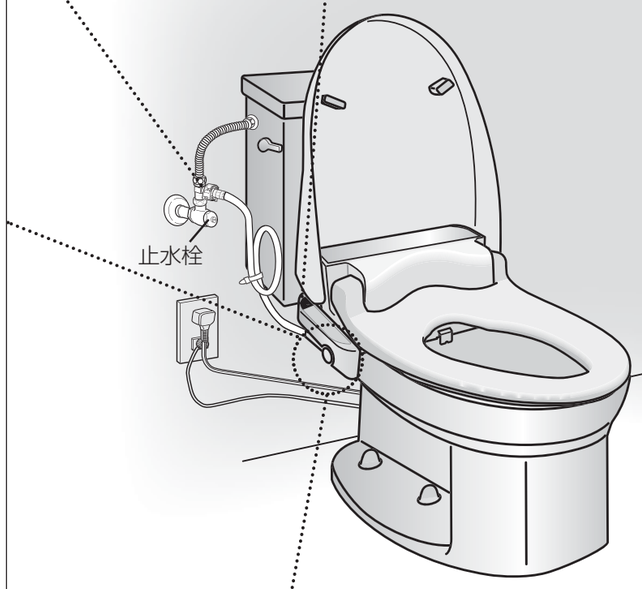
（しっかり閉めないと、水漏れの原因となります）



漏電検知の作動を確認する【24ページ】

（故障のまま使用すると、漏電のときに感電する原因となります）

→故障の場合は販売店にご相談ください。



長期間使用しないときは本体の水を抜く【20・21ページ】

（水が腐敗して皮膚の炎症などの原因となります）

→水抜きをしてから電源プラグを抜いてください。

持ち運ぶときは、必ず本体を持つ

（便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります）

開口部などから針金など金属を入れない

（感電の原因となります）

けがのおそれ

便ふたに寄りかからない

（便ふたが割れて転倒したり、けがをする原因となります）

乗ったり衝撃を加えたりしない

（転倒したり、割れてけがをする原因となります）

本体操作部に手をついて座ったり、立ち上がったりしない

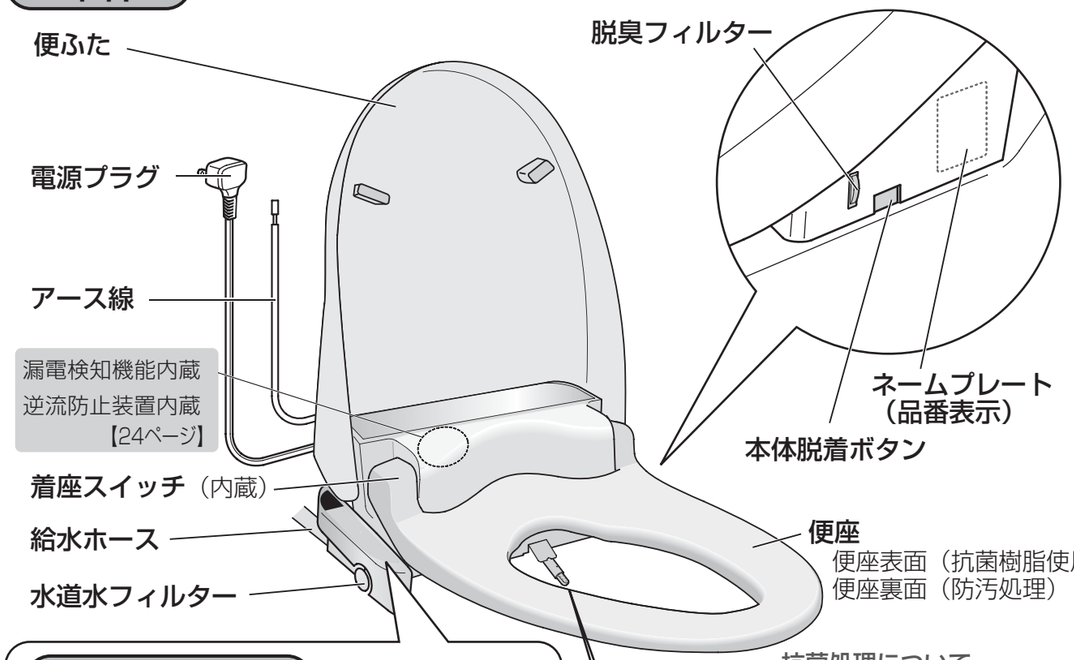
（転倒したり、けがの原因となります）

便ふた・便座開閉時に、指などをはさまないよう注意する

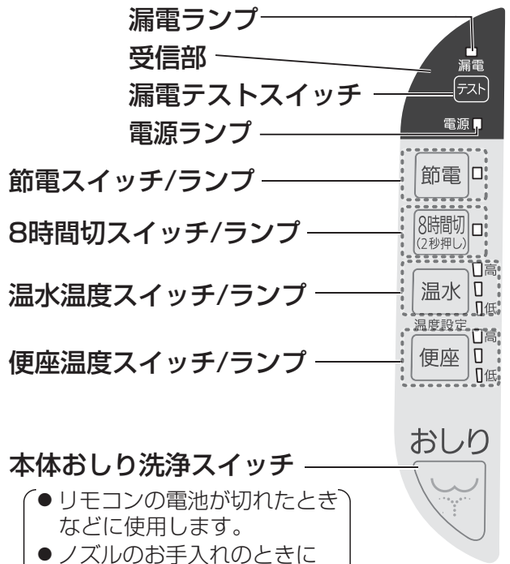
（はさまれると、けがをする原因となります）

各部の名前（本体・リモコン）/付属品

本体



本体操作部

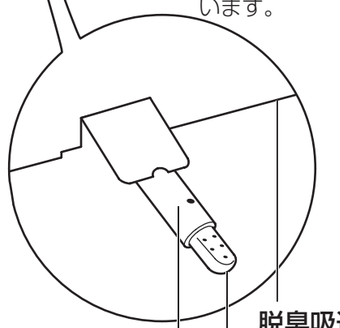


- リモコンの電池が切れたときなどに使用します。
- ノズルのお手入れのときに使用します。【17ページ】

- 傷を防止するために本体操作部表面に保護シートを貼っています。
  不要な場合は取り除いてください。

抗菌処理について
- 表面の細菌の繁殖を抑制します。
- 表面にほこりや油膜等がつくと十分な抗菌効果が得られないことがあります。

防汚処理について
- 表面の汚れを落としやすくしています。



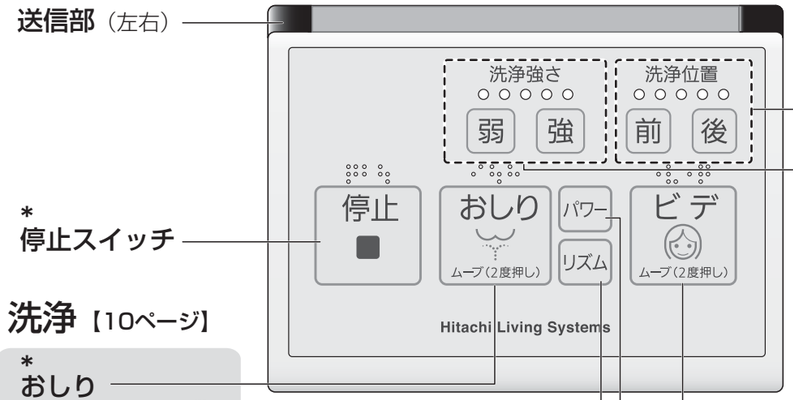
おしり洗浄ノズル
（ステンレス製）

脱臭吸込口（本体裏面）

ビデ洗浄ノズル
（ステンレス製）

■イラストのノズルは説明のために、引き出した状態で表しています。

リモコン



調節【12ページ】
- 洗浄位置スイッチ・ランプ
- 洗浄強さスイッチ・ランプ

洗浄【10ページ】
- *おしり（おしりムーブ）洗浄スイッチ
- リズムスイッチ
- パワースイッチ
- *ビデ（ビデムーブ）洗浄スイッチ

- 目の不自由な方のために＊部分（スイッチの上）には点字を設けています。

付属品

■ リモコン　1個
（ホルダー・取付ねじ・両面テープ付）

■ リモコン用単3形アルカリ乾電池　2個
LR6（EX-S）

- 付属の乾電池は、最初に使用するためにご用意しているもので、1年未満で消耗することがあります。

ご使用前の確認

アース線が接続されていることを確認する

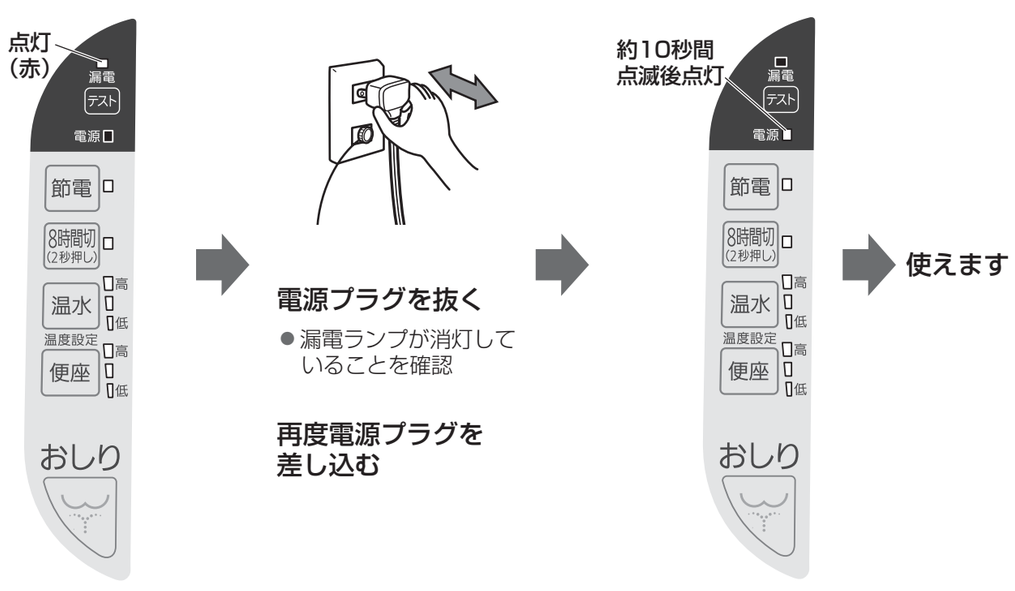
アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電する原因となります。【2ページ】

電源ランプの点灯を確認する

■本体の電源ランプが点灯している場合

使えます

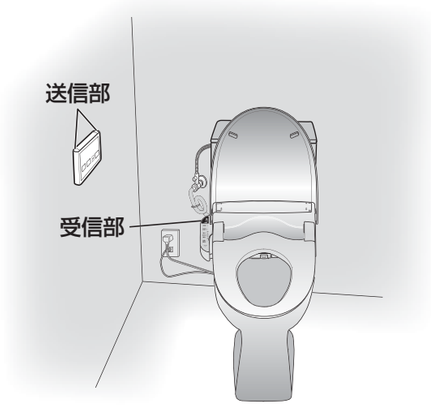
■本体の漏電ランプが点灯している場合



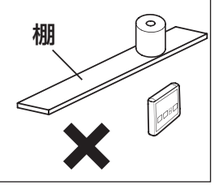
お知らせ
- 漏電テストスイッチを押すと漏電ランプが点灯します。【24ページ】
- 電源プラグを差し直しても直らないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコンの取り付け位置を確認する

リモコンは送信部から信号を送り、天井、壁、床などに反射し、本体の受信部で信号を受けます。
本体の受信部側に取り付けすることをおすすめします。



リモコンと天井の間に棚などの障害物がないことを確かめてください。



リモコンの取り付け位置については、設置工事説明書をご覧ください

〈受信確認のしかた〉

①電源プラグを差し込む
↓電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する
②約10分以内にリモコンのいずれかのスイッチを押す
↓
③本体の電源ランプが1回点滅
… 正常な位置に取り付けられています。

- 電源ランプが1回点滅しない場合は、リモコンの取り付け位置を変更してから再度、受信確認をしてください。

脱臭

- 便座に座ると、着座スイッチが入り脱臭が自動的に始まります。（作動音がします）

▶ 途中で停止するには… 停止 ■ **を押す**

洗浄は、脱臭を停止することができません。

- 立ち上がると、約1分後に自動停止します。

▶ 立ち上がったあと、すぐに脱臭を止めるには… 停止 ■ **を押す**

脱臭が停止します。

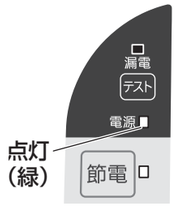
- 十分脱臭できないときは… 脱臭フィルターをお手入れしてください。【19ページ】

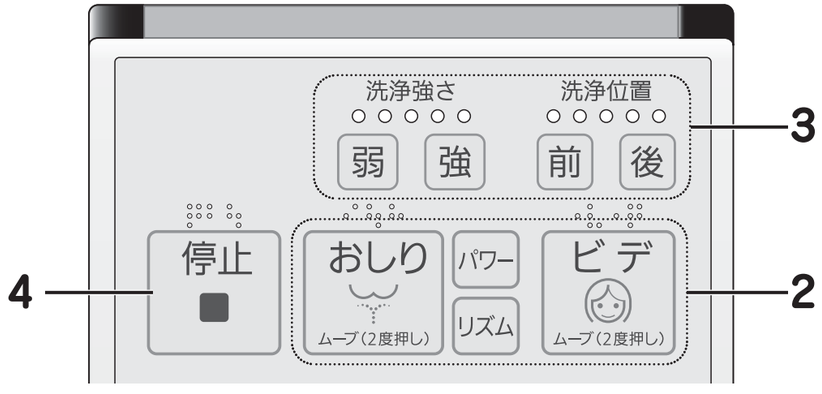
お知らせ
- 飲食物による強臭便（にんにく臭など）のときは十分に脱臭できないことがあります。

洗浄する

ご使用の前に本体の電源ランプが点灯していることを確認してください。

消灯している場合は電源プラグをコンセントに差し直してください。（電源ランプが約10秒間点滅した後、点灯に変わります）





1 座る

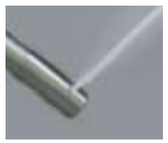
- 脱臭が始まります。（作動音がします）

2 おしり パワー ビデ いずれかを押し、洗浄する

- スイッチを押すと、ノズル洗浄をし、約3秒後に温水が出ます。
- お好みに合わせていろいろな洗いかたができます。

おしり

ムーブ（2度押し）



2度押しするとおしりムーブになります。

- ノズルが自動で前後に動きます。

パワー

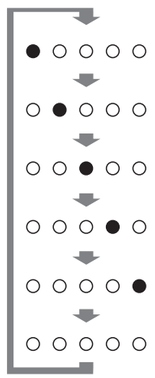
〈しっかり洗いたいときに…〉

洗浄強さランプが「強」で点滅します。

リズム

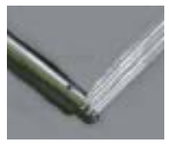
〈便秘のときの排便促進に…〉

洗浄強さを弱から強に自動的に繰り返し、おしりを刺激します。
洗浄強さランプの点灯位置が変化します。（右図参照）



ビデ

ムーブ（2度押し）



2度押しするとビデムーブになります。

- ノズルが自動で前後に動きます。

（イラスト中の ● は点灯を表示しています）

3 弱 強 前 後 お好みで調節する

【12、13ページ】

4 停止 を押す

- 洗浄が止まります。
- しばらくしてノズルを水洗いします。

- 使い終わりに便座から立ち上がるとノズルを水洗いします。
- 便座から立ち上がって約1分後、脱臭が止まります。

お知らせ

- 本体の温水タンクは0.85 Lです。中間の洗浄強さで、約50秒使うと水に変わります。洗浄を止め、約5～7分待つとお湯になります。（水温によって異なります）
- 着座したとき少しがたつきがありますが、これは本体が便器から脱着できる構造のためで、故障ではありません。
- 便座に座ったとき「カチッ」と音がしますが、これは着座スイッチが入る音なので異常ではありません。
- 安全のために、洗浄は約5分間連続使用すると、自動的に停止します。

お知らせ

- ノズルを正しく作動させるため、便座の中央部より、やや後ろに座ってください。体重10 kg以下の方は、着座スイッチが入らないことがあります。
- 洗浄停止中、ノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水があたたまったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。（洗浄後、約7～8分）
- リモコンのランプは、操作後約1分で消灯します。再度、スイッチを押せば点灯します。

調節をする（洗浄強さ/洗浄位置/便座温度/温水温度）

洗浄強さ

おしり、ビデの洗浄中に調節できます。

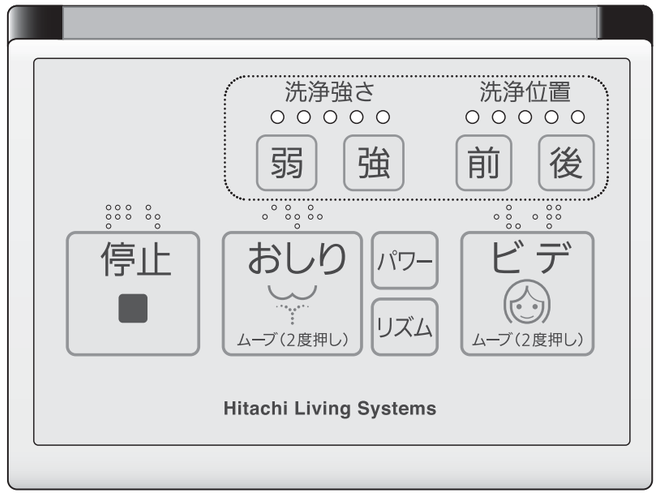
- 弱 または 強 を押すごとに、強さが変わります。
- 5段階で強さを表示します。
- 前回使用した強さを記憶しています。

強さ表示（ランプ点灯）

洗浄強さ
○ ○ ● ○ ○

お願い

水圧の低いところでは、水が出ない場合があります。洗浄強さを「強め」でご使用ください。



洗浄位置

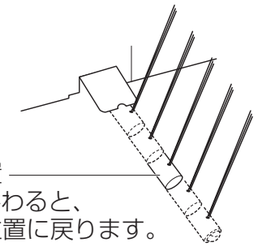
おしり、ビデの洗浄中に調節できます。

- 前 または 後 を押すごとに、それぞれの方向にノズルが移動し、お好みの位置に調節ができます。

洗浄位置を5段階で表示（ランプ点灯）

洗浄位置
○ ○ ● ○ ○

真ん中を中心に前後に2段階

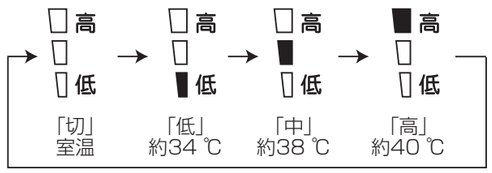


（イラスト中の ● は点灯を表示しています）

便座温度

便座 を押すごとに、
温度を3段階に切り換えできます。
ランプが下図のように切り換わります。

温度表示（ランプ点灯）

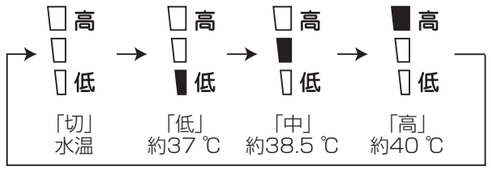


温水温度

温水 を押すごとに、
温度を3段階に切り換えできます。
ランプが下図のように切り換わります。

- 洗浄を使用していない状態でも 温水 を押すごとに、温度が変わります。（洗浄していなくてもお好みの温度に設定しておけます）

温度表示（ランプ点灯）



（イラスト中の ▮ は点灯を表示しています）

節電する（節電／8時間切）

※1
年間消費電力量
8時間切設定無し
237 kWh/年
8時間切設定有り
175 kWh/年
省エネ法（2012年度基準に基づく）
【裏表紙参照】

節電（便座温度・温水温度）

1時間毎にその間のご使用の有無を記録し、ご使用の無かった時間帯の便座と温水の温度を下げます。

- 節電 を押す
  - 節電ランプが点灯します。

- 各時間帯毎にご使用が2日以上無いと温度を下げ始め、ご使用の無い期間が続けばより温度を低くします。最大、便座は15 ℃、温水は24 ℃まで下がります。

節電中、使用しない時間帯に着座すると…

- 最初は冷たく感じる場合がありますが、便座は約2～3分、温水は約3～5分で温かくなってきます。

節電中にご使用があると…

- ご使用のあった時間帯の便座と温水の温度は、節電を行う前の温度に戻ります。それまでのご使用の記録はなくなり、新たに記録を開始します。

〈節電をやめたいとき〉

- 再度、 節電 を押すと解除されます。
  - 節電ランプが消灯します。
  - あらかじめ設定されていた便座温度、温水温度に自動的に戻ります。（設定温度に戻るまでに約3～5分かかります）

8時間切（便座温度・温水温度）

便座ヒーターと温水ヒーターへの通電を8時間停止し、節電[※1]します。8時間停止後は、前に設定された便座温度ランプ、温水温度ランプが点灯します。

- 節電中にも設定ができます。

- 8時間切 (2秒押し) を約2秒間押すと設定され、便座と温水への通電を8時間停止します。
  - 8時間切ランプが点灯します。
  - 8時間後に便座・温水が保温状態に戻り、ランプが消灯します。

8時間切設定中に着座すると…

便座温度：着座と同時に通電します。あたたまるまでに約10～12分かかります。
（室温によって異なります）
温水温度：着座と同時に通電します。あたたまるまでに約5～7分かかります。
（水温によって異なります）

- 着座中は便座温度ランプ、温水温度ランプが点灯します。
- 使用後、便座から立ち上がると
  →8時間切設定に戻ります。

〈8時間切をやめたいとき〉

- 再度、 8時間切 (2秒押し) を約2秒間押すと解除されます。
  - 8時間切ランプが消灯します。

お知らせ
- 電源プラグを抜いたときや停電のとき、または漏電テストスイッチを押したときは「節電」「8時間切」の設定が取り消されます。

お手入れ（本体・ロータンク／ノズルなど）

本体・ロータンクなどのお手入れ（日常）

⚠警告

本体、本体裏面や電源プラグに水や洗剤などをかけない

水ぬれ禁止

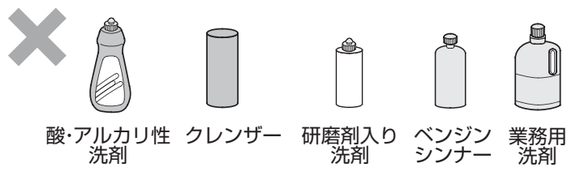
（感電や、ショートして火災の原因となります）

1 **柔らかい布で水ぶきをする**

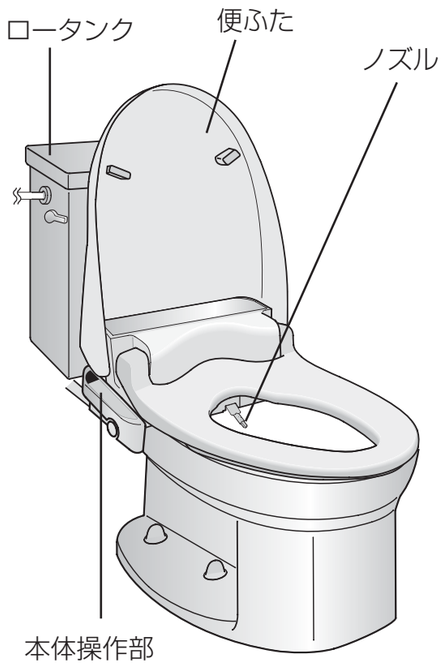
（水をかけて洗わない、乾いた布やトイレットペーパーは傷の原因となります）

2 **取れにくい汚れは家庭用中性洗剤をうすめてふく**

下記の洗剤は、本体内の金属部分などを腐食させたり、本体や便座などを傷めますので使用しないでください。



化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



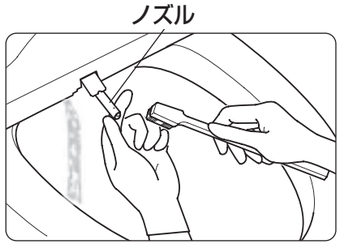
ノズルのお手入れ（週1回）

ノズルをお手入れするときは、ゴム手袋を着用してください。

1 **便ふた、便座を上げる**
本体操作部の を押す

おしり洗浄ノズルが出る。（ノズルから洗浄水がでます）

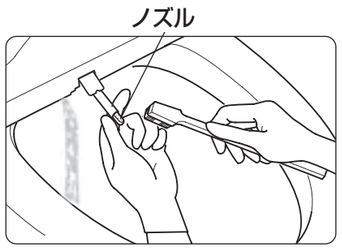
2 **ノズルを軽く手で持ち、歯ブラシなどで洗う**



3 **再度 を押す**

ビデ洗浄ノズルが出る。（ノズルから洗浄水がでます）

4 **ノズルを軽く手で持ち、歯ブラシなどで洗う**



5 **再度 を押す**

ノズルが戻る。（ノズル洗浄水が約3秒間でます）

お願い
- 便器を洗うときのトイレ用洗浄剤は本体に付けないようにしてください。また揮発性ガスにより本体を傷めることがあります。手際よく短時間にお手入れしてください。
- 梅雨時や冬の暖房時の結露はそのままにしておくと、床や壁をぬらし、かびの原因となります。ふき取り、換気をしてください。

お知らせ
- 本体や便座などに尿が付着したまま放置されますと、ピンク、茶色等のしみになることがあります。

お願い
- ノズルのお手入れ時にノズルを曲げないようご注意ください。
- ノズルを無理に手で引っ張り出さないでください。故障の原因となります。もし、誤って引っ張り出した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。
- お手入れのとき、ノズルを出した状態でそのまま放置すると約3分後にノズルが収納します。

お手入れ（本体裏面/便ふた/脱臭フィルター）

本体裏面のお手入れ（週1回）

1 お手入れの前に電源プラグを
コンセントから抜く

2 本体を
取り外す

本体脱着ボタンを押したまま、本体の両側部を持ち上げながら手前に引き、便器の上に置く

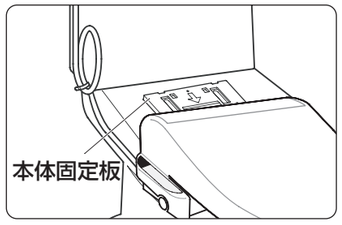
- 便器から本体が手前に少し移動します。

⚠警告

本体、本体裏面や電源プラグに水や洗剤などをかけない

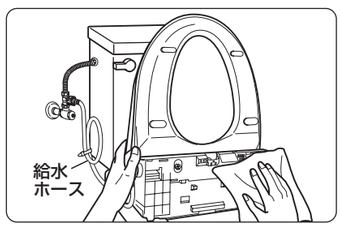
（感電や、ショートして火災の原因となります）

3 かくれた便器部分などの汚れをふきとる



- 水でぬらしたやわらかい布を十分にしぼってふいてください。

4 本体裏面を掃除する



- 本体を便器の上に立てた状態にし、便座が倒れないように手で支えて、本体裏面の汚れをふきとってください。水はかけないでください。

5 本体を取り付ける

①左図のように突起Aに突起Bを合わせる。
②手前を浮かせた状態で斜めに差し込む。
③「カチッ」と音がするまで上から押す。

- コードを本体と便器の間にはさみ込まないようにしてください。
- 本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

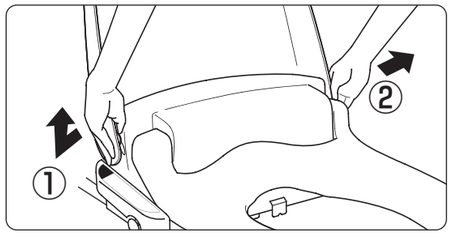
6 電源プラグをコンセントに差し込む

便ふたのお手入れ（週1回）

1 お手入れの前に電源プラグを
コンセントから抜く

2 便ふたを取り外す

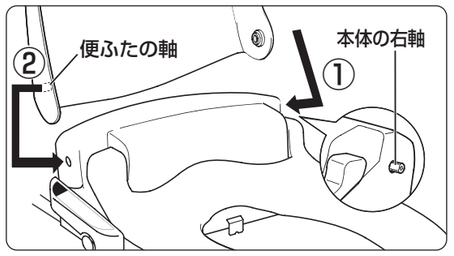
便ふたを立てた状態にし
①便ふたの左側を外れるまで強く広げて引き上げ
②本体の右軸から外す



3 便ふたの汚れをふき取る

4 便ふたを取り付ける

①本体の右軸に便ふたを差し込み
②本体左の穴に便ふたの軸を入れる
（正しく取り付けないと便ふたが外れることがあります）

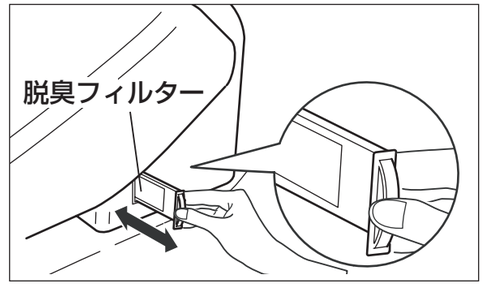


5 電源プラグをコンセントに
差し込む

脱臭フィルターのお手入れ（月1回）

ほこりなどがつまると、脱臭効果が悪くなります。

1 脱臭フィルターを取り出す



2 かわいた歯ブラシなどで、ほこりを
取り除く、または水洗いをする

- 水洗いをした場合は、よく乾かしてご使用ください。

3 元どおりに差し込む

お願い

- 本体を手前に引くとき〈手順**2**〉や立てるとき〈手順**4**〉は、給水ホースなどに無理な力を加えないよう注意してください。
- 本体を裏向けに寝かさないでください。傷の原因となります。

お知らせ

- 本体を便器にセットしたとき、少しがたつきがありますが、これは脱着できる構造のためで故障ではありません。

凍結予防・長期間使用しないときは

■次のようなときは水抜きをしてください

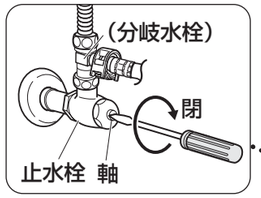
- 寒い地域で本体内の水が凍結するとき……水抜きしないと凍結し、水漏れの原因となります。
- 1週間以上使用しないとき……水抜きしないと水が腐敗して皮膚の炎症などの原因となります。
- 移設など本体を移動されるとき……水抜きしないと本体から水が漏れたり、故障の原因となります。
- 別荘など長期間使用しないときは必ず行ってください。

ロータンク式

1 電源プラグをコンセントから抜く

- 抜かないと故障の原因となります。

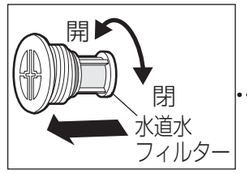
2 止水栓をマイナスドライバーまたは同梱のスパナで全閉にし、給水を止める



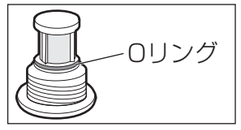
3 ロータンクのレバーを回す

- ロータンク内の水を流し、給水しないことを確認してください。

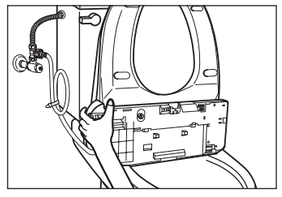
4 バケツなどを受けて
水道水フィルターをマイナスドライバーまたはプラスドライバーでゆるめて取りはずす
（トイレが狭くドライバーが入らない場合は、**5**の手順で本体をずらしてゆるめてください）



- 本体内の水が出ます。
- 水道水フィルターが汚れている場合は、歯ブラシなどでお手入れしてください。
- 取り外した水道水フィルターを置く時は、Oリングにゴミ等が付着しないよう、つまみ部を下にして置いてください。

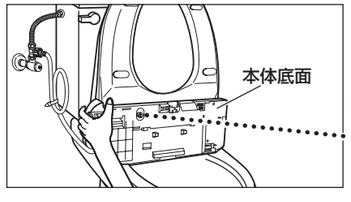


5 本体脱着ボタンを押したまま、本体の両側部を持ち上げながら手前に引き、便器の上に立てる



6 本体底面にあるタンク水抜栓をプラスドライバーなどで「開」側に回して外し、本体底面を下にして排水（水抜き）する

- タンク水抜栓を落とさないように注意してください。



お願い
便器内に水が流れるよう排水してください。

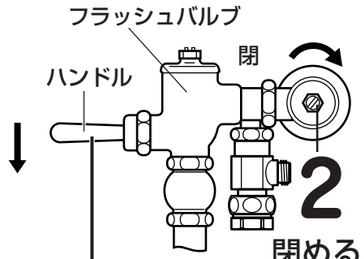
7 水抜き後、
タンク水抜栓と、水道水フィルターを元のように取り付け、本体を元の位置（18ページの手順5参照）に戻す

水道水フィルターを確実に閉めないと水漏れをおこします。

8 リモコンの
電池を抜く【25ページ】

フラッシュバルブ式

1 電源プラグをコンセントから抜く



2 閉める

- 給水が止まります。

3 ハンドルを押す

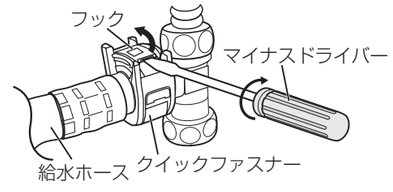
→以下、左記のロータンク式、手順4～8に従う

移設などで給水ホースを外すとき

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 止水栓を全閉にし給水を止める

3 マイナスドライバーをフック下側に押し込み回す



お願い
取り外す必要のないときは、外さないでください。

■水抜き後に再び使用するときは…

【22ページ】に従って使用できることを確認してください。

凍結予防・長期間使用しないときは

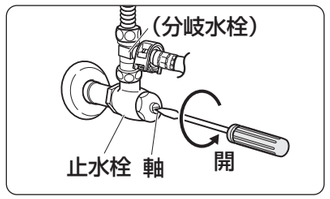
■水抜き後に再び使用するときは…

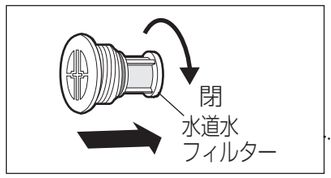
以下の手順で使用できることを確認してください。

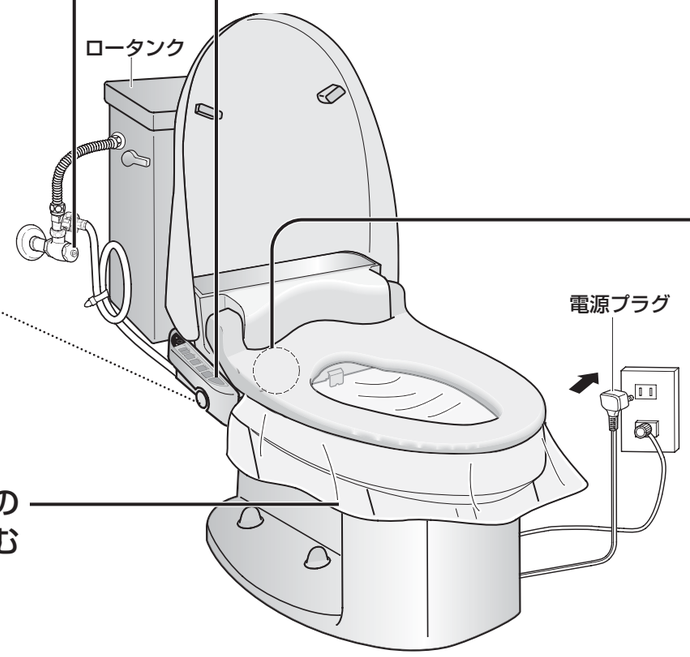
1 止水栓を開け、給水する

- 止水栓の軸を開側へ回し、元どおりの状態に開けてください。
- 水道水フィルターからの水漏れがないかを確認してください。

➡ 水漏れしている場合は、水道水フィルターを確実に閉めてください。







2 リモコンに電池を入れる【25ページ】

3 便座の下にお手持ちの薄手のビニールシートなどをはさむ

- 水の飛び散り防止のため

4 電源プラグを差し込む

- 本体の電源ランプが約10秒間点滅した後、点灯に変わります。
- 本体の電源ランプが点灯しないまたは、漏電ランプが点灯した場合は、再度電源プラグを差し直してください。

◎温水タンクの空だき防止のため、温水を押し、温水温度を「切」にしてください。

お願い

- **温水温度ランプ「高」と「低」が同時点滅している場合**
  温水タンクの空だき防止の警告表示です。止水栓が開いているか確認し、電源プラグを抜いて約4～10分待ってください。その後、電源プラグを差して電源ランプが点灯したら上記手順**5**～**10**を行ってください。

お知らせ

- 洗浄後、ノズル周辺部より便器内に水が出ますが、ノズル洗浄等の水で故障ではありません。

5 本体操作部の を押す

- おしりノズルが出て、本体の温水タンクに注水を始めます。**約1分後、ノズルから水が下向きに出ます。**水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。

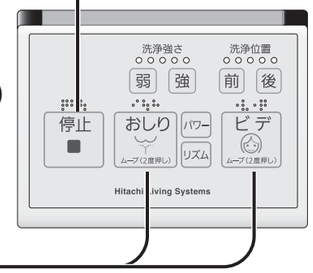
◎着座スイッチがON状態になっていない場合は、ノズルお手入れ状態になり、水は下向きに出ます。

6 停止 を押す

- ノズルが元に戻ります。

7 便座の左後部を押しながら、着座スイッチ（本体内蔵）をON状態にする

- 脱臭が始まります。（作動音がします）



8 そのまま押しながら、リモコンのおしり または ビデ を押し、洗浄水が出ることを確認

- 着座スイッチがON状態になっていないと、洗浄水が上に出ません。
- 洗浄強さランプ、洗浄位置ランプが点灯し、洗浄水が出ます。
- ビニールシートの上から見て、洗浄水がビニールシートに当たっていることを確認してください。
- 確認後、停止を押し、停止してください。
- ノズルを洗浄する水が出ます。

9 ビニールシートを外す

10 便座 と 温水 のスイッチで温度を調節し、通電約5分後、着座して便座と温水のあたたかさを確認する【12・13ページ】

定期点検

■ 漏電検知の点検…月に1回（お客様が行ってください）

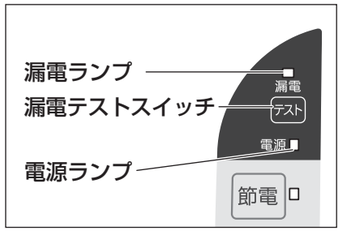
漏電による感電を防止するため点検を行ってください。
そのままにしておくと、異常がある場合、感電の原因となります。

1 漏電テストスイッチを押す

- 漏電ランプが点灯することを確認してください。

2 電源プラグを抜く

- 漏電ランプが消灯することを確認してください。



3 電源プラグを差す

- 本体の電源ランプが約10秒間点滅した後、点灯に変わることを確認してください。

点検時以外に、漏電テストスイッチを押さないでください。
異常がある場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、工事店または販売店へ連絡してください。

■ 配管・本体まわりの点検…月に1回（お客様が行ってください）

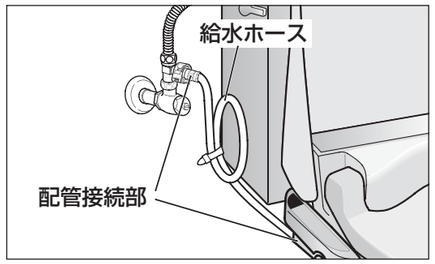
そのままにしておくと、異常がある場合、水漏れの原因となります。

1 ゆるみ、傷み、破損がないかを確認する

- 配管接続部のゆるみや、給水ホースに傷みや破損がないかを確認してください。

2 水漏れがないか確認する

- 給水ホースや本体まわりからの水漏れがないかを確認してください。



異常がある場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、
止水栓を全閉にしてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。

■ 逆流防止装置点検と定期点検…5年ごと（専門業者に依頼）

逆流防止装置は必ず5年を目安にお買い上げの販売店または工事店に点検を依頼してください。また、長期経過したものは、ご使用上支障がなくても、安全のため定期点検を受けてください。そのままにしておくと、異常がある場合、汚水が水道管へ逆流するおそれがあります。

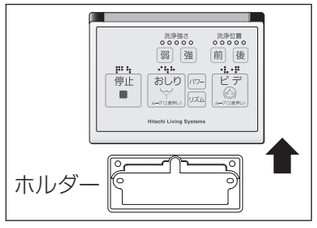
電池交換 交換の目安…約1年 （リモコン：単3形アルカリ乾電池を使用の場合）

乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【3ページ】を必ずお守りください。
マンガン乾電池を使用した場合、アルカリ乾電池より寿命が短くなります。

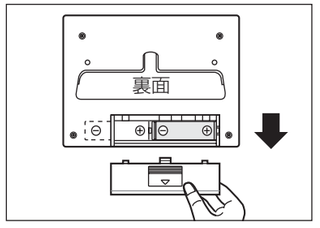
リモコンの電池交換手順

リモコンを押しても正しく動かなくなったら交換してください。〈単3形乾電池 2個〉

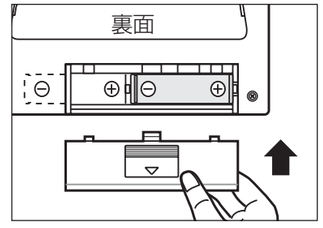
①リモコンをホルダーから外す



②ふたを開ける



③単3形乾電池を交換し、ふたを閉める



Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）		A（回答）	参照ページ
洗浄について	設置後、洗浄水が出ないのですが?	①水道の元栓が閉まっていませんか。 元栓を全開にしてください。 ②止水栓を開側へ回し調節してください。 ③工場出荷時は、本体内タンクが空状態ですので、試運転の手順で着座スイッチをON状態にし、おしりスイッチを押すと約1分後に洗浄水が出ます。	設置工事説明書
		④水道水圧は十分ありますか。 井戸水やマンションの最上階など水圧が低い場合があります。	―
	洗浄位置がずれていたり、便座の後方がぬれるのですが？	● 前方位置に座っているためです。中央部に座りなおしてください。 ● 中央部に座っていても洗浄位置がずれている場合は、洗浄位置調節で合わせてください。	― 13
便座について	座ったときに便座温度が冷たく、しばらくするとあたたかくなるのですが？	①節電ランプが点灯していませんか。 着座していない時間帯ごとに暖房便座の設定温度を自動的に下げて節電していますので、着座したときに冷たく感じる場合があります。	14
		②8時間切ランプが点灯していませんか。 暖房便座への通電を止めていますので、便座は冷たくなっています。	15
	便座に座るとがたつくのですが?	取付ボルトのゆるみが考えられますので、締め付け確認をお願いします。本体が便器から脱着できる構造のため締め付け後も少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。	設置工事説明書
温水について	温水が途中から水に変わってしまうのですが?	本体の温水タンクは0.85 Lです。中間の洗浄強さで約50秒使うと水に変わります。洗浄を止め、約5～7分待つとお湯になります。（水温によって異なります）	10
	温水が出なくなったのですが?	①便座カバーを使いますと、着座スイッチが正常に作動しない場合があります。カバーを外してご使用ください。	―
		②止水栓を閉めすぎていませんか。 止水栓を適量に開けてください。	22
各ランプについて	温水温度ランプの「高」と「低」が同時に点滅するのですが?	温水タンクの空だき防止の警告表示です。電源プラグを抜いて約4～10分待ってください。 その後、22ページの「■水抜き後に再び使用するときは…」の手順に従ってください。	22、23
	電源を入れたとき電源ランプが点滅するのですが?	約10秒間点滅しますが、その後点灯に変わります。故障ではありません。	8、9、10、24
	リモコンを押すと電源ランプが点滅するのですが？	電源プラグをコンセントに入れてから約10分間は、リモコンを押すごとに本体の電源ランプが1回点滅し、受信ができたことをお知らせします。	9

Q（質問）		A（回答）	参照ページ
その他	便座から立ち上がったとき、および洗浄開始、洗浄終了時に、ノズル周辺部から便器に水が出ているのですが？	ノズル周辺部より便器内に水が出ますが、ノズルを洗浄している水で故障ではありません。	10 11
	手洗いボールより水が飛び散るのですが？	水圧が高く、給水量が多いためです。止水栓を再度調整してください。	設置工事説明書
	便器と便座のすき間（前方）より小水が飛び散るのですが？	便器内に向かって、排泄していただくようにお願いします。	―
	今まで使っていた便座カバーは使えますか？	使用できません。	―
	買い替えや引っ越しするので、設置工事を頼みたいのですが？	お買い求めの販売店へご相談ください。	―

故障かな?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	調べるところ・原　因　・　対　策	参照ページ
電源ランプが消灯している	● 本体操作部の漏電ランプが点灯していませんか。 ➡ 電源プラグを差し直してください。	8
座ったときにリモコンまたは本体操作部を押しても動かない（おしり洗浄、ビデ洗浄など）	● 便座の先端部に座っていませんか。（着座スイッチ不作動） ➡ 便座の中央部に座りなおしてください。 ● 電池が消耗していませんか。 ➡ リモコンの乾電池を交換してください。 ● 便器から本体便座がずれていませんか。 ➡ ずれを直して、ゆるまないように本体取付ボルトをしめつけてください。	– 25 設置工事説明書
リモコンのランプが見にくい	● 電池が消耗していませんか。➡ 乾電池を交換してください。	25
便座が冷たい 温水温度が低い （水が出る）	● 便座温度ランプまたは温水温度ランプが消灯していませんか。 ➡ 便座温度スイッチまたは温水温度スイッチを押してお好みの温度に合わせてください。 ● 8時間切ランプが点灯していませんか。 ● 節電ランプが点灯していませんか。	12、13 15 14
洗浄水の出が悪いとき（洗浄水が出ないとき）	● 水道の元栓・止水栓が閉まっていませんか。 ➡ 水道の元栓・止水栓の軸を開側へ回し調節してください。 ● ノズルに水あかなどがつまっていませんか。 ➡ ノズルを歯ブラシなどでお手入れしてください。 ● 水道水フィルターがつまっていませんか。 ➡ 20ページ手順1～4に従って水道水フィルターを取り外し、水道水フィルターを歯ブラシなどでお手入れしてください。	22 17 20
十分に脱臭できない	● 脱臭フィルターがほこりでつまっていませんか。 ➡ 脱臭フィルターを乾いた歯ブラシなどでお手入れしてください。	19
電源ランプが点滅する	● お手入れのときにノズルを無理に押すと電源ランプが点滅しながらノズルが収納されます。 ➡ 本体操作部の を押すと、電源ランプが点灯し、再びお手入れできます。	–

次のような場合には必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

- 電源プラグを差し直しても本体の電源・漏電・節電・便座温度・温水温度・8時間切ランプが点滅する。**（電源プラグを抜くこと）**
- 電源プラグを差し直しても本体の電源ランプが点灯しない。
- 煙が出たり、異常な音やにおいがする。**（電源プラグを抜くこと）**

次のような場合は設定が取り消されますので、再設定をしてください。

このようなとき	再設定する機能	参照ページ
●電源プラグを抜いたとき ●漏電テストスイッチを押したとき ●停電が1秒以上続いたとき	● 節電／8時間切	14・15

仕様

項目＼品番		HOB-3000
給水方式		水道直結給水式
定格	電源	交流 100 V 50-60 Hz
	ワイヤレスリモコン	直流 3 V（単3形乾電池 2個）
	消費電力	461 W（本体：414 W　便座：47 W）
区分※1		貯湯式
年間消費電力量※2		175 kWh/年（237 kWh/年）
暖房便座	標準表面温度	「切」室温、3段階切り換え「低」約34 ℃／「中」約38 ℃／「高」約40 ℃
	安全装置	温度ヒューズ
脱臭装置	脱臭剤	触媒脱臭
	吸込風量	0.1 m^3/分
洗浄装置	最大流量	パワー洗浄（おしり：1.0 L／分）
	流量調節	5段階
	標準温水温度	「切」水温、3段階切り換え「低」約37 ℃／「中」約38.5 ℃／「高」約40 ℃
	貯湯量	0.85 L
	安全装置	温度ヒューズ・温度過昇防止装置・逆流防止装置
その他の安全装置		漏電検知機能・着座スイッチ内蔵
使用温度範囲		0～40 ℃（給水温度）　0～35 ℃（周囲温度）
使用水圧範囲※3		49～735 kPa {0.5～7.5 kgf／cm^2}
標準寸法（幅×高さ×奥行）		44.4 cm×17.7 cm×54.0 cm
標準質量		4.4 kg

※1：省エネ法（2012年度基準）の区分
※2：年間消費電力量は4人家族（男性2人・女性2人）で使用の場合。〔室温:5 ℃（冬季）・15 ℃（春秋季）・28 ℃（夏季）、水温:15 ℃〕
おしり洗浄使用1日4回、ビデ洗浄使用1日8回、男性小用1日4回で省エネ法（2012年度基準）の測定方法に準拠し、標準品を測定して計算しました。（　）内は8時間切設定による節電を使用しない場合の年間消費電力量です。
※3：使用水圧範囲が147 kPa以下では水勢調節幅が狭くなります。

抗菌樹脂を使用した部分

便座（表面）	
● 試験機関…（財）日本紡績検査協会	● 抗菌方法…抗菌剤（銀ゼオライト）を樹脂に練り込み
● 試験方法…フィルム密着法　JIS Z 2801	● 試験結果…耐水処理 2.0以上　耐光処理 2.0以上（抗菌活性値）

愛情点検　長年ご使用の温水洗浄便座の点検を！

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●水漏れする。（配管接続部、本体内部） ●本体や便座にひびや割れが入っている。 ●異常な音やこげ臭いにおいがする。 ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●電源プラグや電源コードが異常に熱い。 ●本体や操作部が異常に熱い。 ●その他の異常や故障がある。	事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜き止水栓を閉めて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。
また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

温水洗浄便座協議会からのお知らせ

温水洗浄便座　**重大事故防止のためのお願い**

温水洗浄便座は電気製品で寿命があります

故障したままで使いつづけないでください。

故障したままのご使用は、**火災や感電、室内浸水の原因**になります。異常に気づいたら、**電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店、工事店またはメーカーにご相談ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。	酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。	電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング現象で火災の原因になります。

故障したままで使いつづけないでください。火災や感電、室内浸水の原因になります。

温水洗浄便座協議会　http://www.sanitary-net.com　フリーダイヤル 0120-39-7718 受付時間 平日09:00～17:00　後援 経済産業省

施工完了 チェックシート

確認日	年　月　日
確認者	

1□から6□を チェック

◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

1□ クイックファスナーを正しく取り付けていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- 給水ホースを引っ張っても抜けないこと。

※クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。再度、取り付け手順に従ってください。

2□ 止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

3□ 水漏れしていませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

4□ 電源は入っていますか

- 電源ランプは点灯していますか。

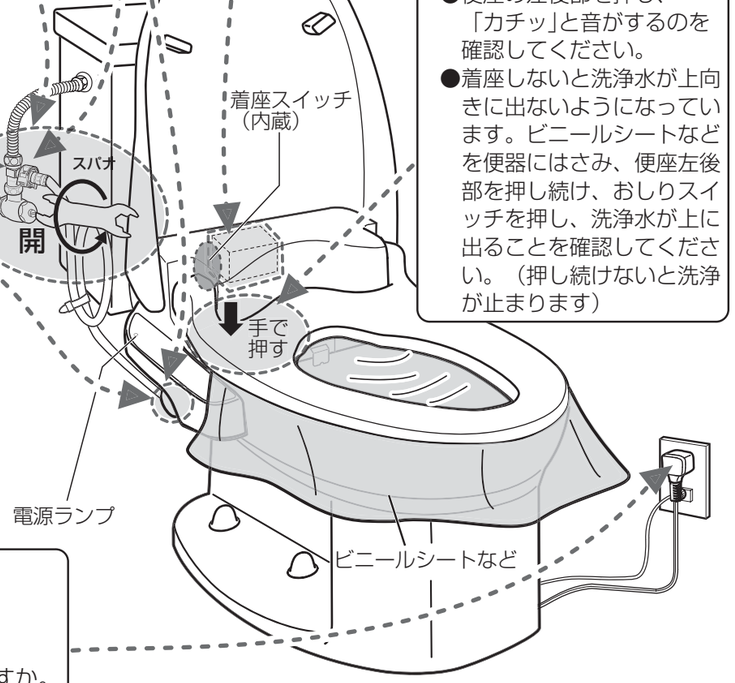
5□ 温水タンクに水が入っていますか

- 設置完了後、本体のおしりスイッチを押すと、ノズルが出て、温水タンクに注水を始めます。約1分後、ノズルから水が下向きに出るとタンクに水が入っています。

※ノズルの左から出る水は、圧力逃がし水であり、水漏れではありません。

6□ 着座スイッチは正常に働きますか

- 便座の左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。
- 着座しないと洗浄水が上向きに出ないようになっています。ビニールシートなどを便器にはさみ、便座左後部を押し続け、おしりスイッチを押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。（押し続けないと洗浄が止まります）



お願い　●試運転は、必ず行ってください。

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL.03（3260）9611　FAX.03（3260）9739

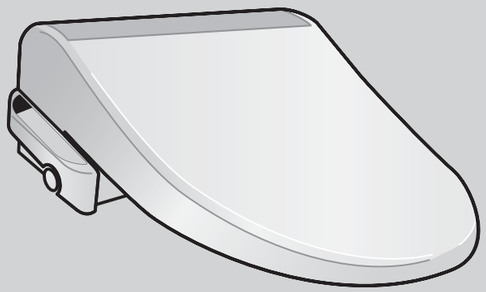
DL949A-QVCP0
CS0410-0

設置工事説明書　　日立リビングサプライ

家庭用

温水洗浄便座

HOB-3000形



目　次

準備
■安全上のご注意……2
■設置の前に……3
■各部の名前と同梱部品の確認……4

設置
■設置工事の流れ……6
■止水栓を閉める……8
止水栓がある場合　止水栓がない場合……8
■分岐水栓を取り付ける……9
初めて温水洗浄便座を取り付ける場合……9
既設の温水洗浄便座から取り替える場合……10

取付
■本体を取り付ける……12
■給水ホースを取り付ける……13
■アース線の接続……14
■止水栓を開ける……14
■リモコンを取り付け、電源を入れる……15

試運転
■試運転……16

確認
■こんなときは……18
■施工完了チェックシート……裏表紙

Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

安全な工事をするために、この設置工事説明書に基づいて設置してください。
工事終了後は、取扱説明書、保証書とともに大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

- **ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。**
- **ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお読みいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、過った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください**

⚠警告	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。

この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。

この記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

⚠警告

D種接地工事を行う
アース線接続

アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

設置工事は、設置工事説明書に従って確実に行う
説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

設置工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する
指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

電気工事は、内線規程に従って施工する
内線規程に従わないと、火災、感電の原因となります。

コンセントのアース端子にアース線を取り付ける
アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。

水場使用禁止
バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない
感電や火災の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因となります。

上水道以外には接続しない
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因、または異物の混入などで配管がつまり、故障の原因となります。

⚠注意

水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う
条例に基づいて行わないと、水漏れの原因となります。

移動や設置時、本体を持つ
便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります。

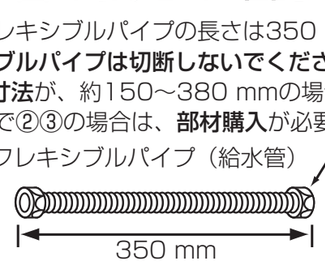
設置の前に

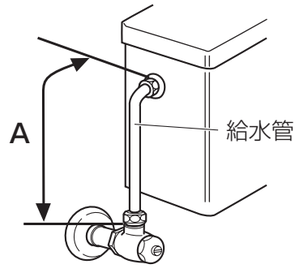
お願い
- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、暖かい部屋に放置し、とかしてから設置する。
- **必ず同梱の分岐金具をご使用ください。**

お知らせ
- **この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがありますが、故障ではありません。**
- 使用水圧範囲は49～735 kPa、{0.5～7.5 kgf/cm^2} です。

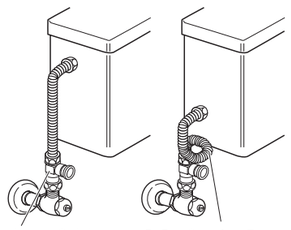
■給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは350 mmです。
フレキシブルパイプは切断しないでください。
右図の**A寸法**が、約150～380 mmの場合は、取り付けできます。
上記以外で②③の場合は、**部材購入**が必要です。

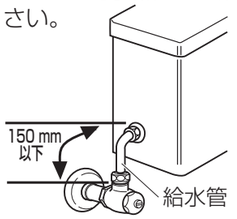




①A寸法が約150～380 mmの場合の設置例



②給水管が短い場合または外れない場合
A寸法が約150 mm以下ではフレキシブルパイプが曲げられず、取り付けられません。この場合、9ページを参照してください。



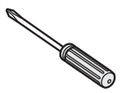
③A寸法が約150～380 mm以外の場合
ホームセンターなどで市販品を購入してください。

■リモコン取付位置の確認

リモコンを取り付ける位置は、15ページを参照してください。

■ご準備いただくもの

メジャー

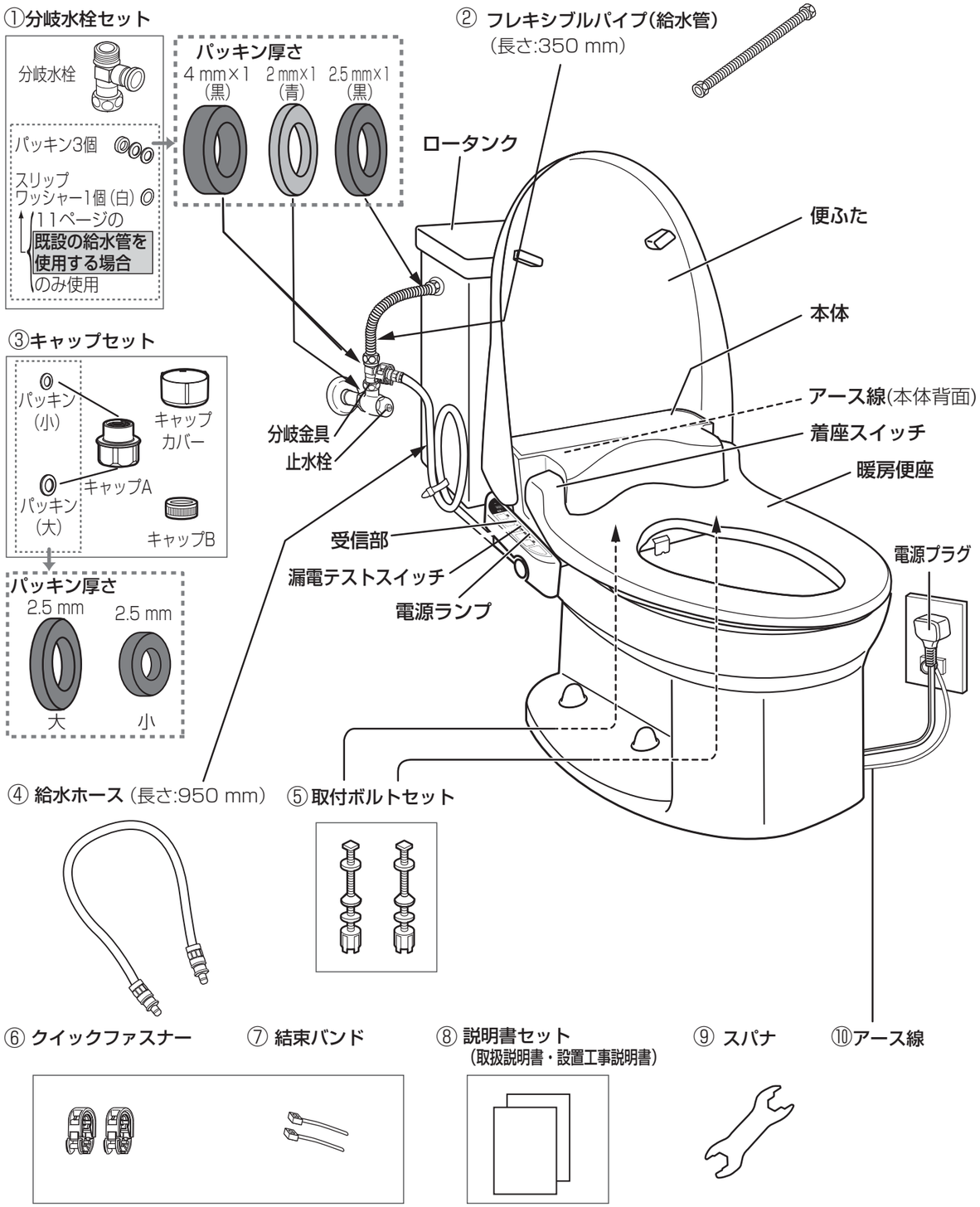

プラス
ドライバー

モンキー
レンチ

バケツ・ぞうきん

各部の名前と同梱部品の確認

設置方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。

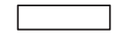


〈リモコン用〉

⑪リモコンセット

リモコン

リモコンホルダー



両面テープ

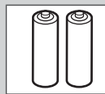
リモコンホルダーはリモコンにセットされています。

⑫取付ねじセット

樹脂プラグ 2個

ねじ 2個

⑬乾電池セット



単3形アルカリ乾電池 2個

【同梱部品】

番号	部品名		数量
①	分岐水栓セット （分岐水栓 パッキン 薄い:黒（厚さ2.5 mm×1） パッキン 青（厚さ2 mm×1） パッキン 厚い:黒（厚さ4 mm×1） スリップワッシャー（白）×1）		1
②	フレキシブルパイプ（給水管）		1
③	キャップセット （キャップカバー キャップA キャップB パッキン 大:黒（厚さ2.5 mm×1） パッキン 小:黒（厚さ2.5 mm×1））		1
④	給水ホース		1
⑤	取付ボルトセット		1
⑥	クイックファスナー		2
⑦	結束バンド		2
⑧	説明書セット	取扱説明書	各1
		設置工事説明書	
⑨	スパナ		1
⑩	アース線（本体接続済み）		1

リモコン用

⑪	リモコンセット （リモコン リモコンホルダー 両面テープ）	1
⑫	取付ねじセット	1
⑬	乾電池セット	1

ご注意

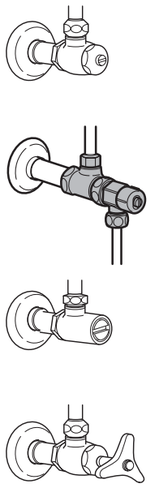
- 同梱のパッキンをご使用ください。（他のパッキンをご使用されますと接続部が破損するおそれがあります）

設置工事の流れ

止水栓を閉める

8ページ

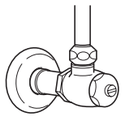
止水栓がある場合



分岐水栓を取り付ける

初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

9ページ



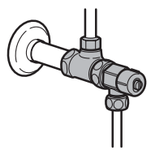
（給水管が短い場合）

9ページ

既設の温水洗浄便座から取り替える場合

（既設の分岐水栓が右図タイプ）

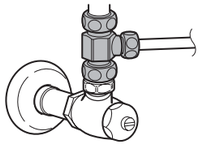
10ページ



●専門業者に依頼する

（既設の分岐水栓が右図タイプ）

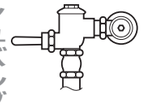
11ページ



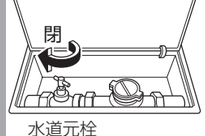
8ページ

止水栓がない場合

フラッシュバルブの場合



専門業者に依頼する

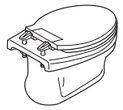


水道元栓

本体を取り付ける

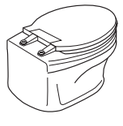
12ページ

下からナット締めができる便器の場合



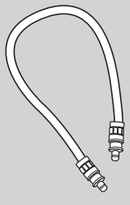
12ページ

下からナット締めができない便器の場合



給水ホースを取り付ける

13ページ



アース線の接続／止水栓を開ける

14ページ

リモコンを取り付け、電源を入れる

15ページ

試運転

16ページ

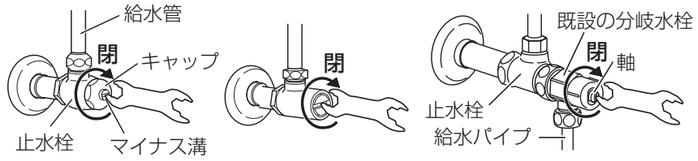
施工完了チェックシートで確認する

裏表紙

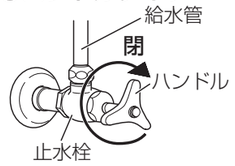
止水栓を閉める

■止水栓がある場合

●マイナス溝タイプ



●ハンドルタイプ



止水栓を閉めた後、ロータンクの水を流し切ってください。

9〜11ページ　分岐水栓を取り付ける

■止水栓がない場合 → 設置については専門業者に依頼してください

分岐水栓を取り付ける

〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照

★は、同梱部品です。

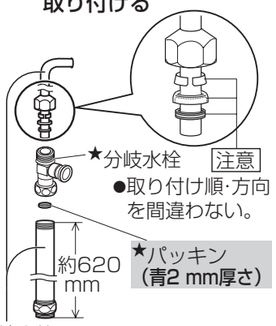
寒冷地用の給水管（止水栓なし）から給水する場合

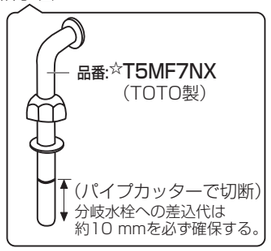
フラッシュバルブから本体へ給水する場合

TOTO製の場合

❶ 水道の元栓を閉める

❷ 給水管に分岐水栓を取り付ける



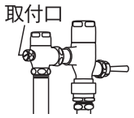


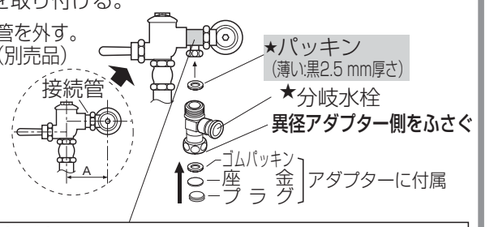
❶ 水道の元栓を閉める

❷ 分岐水栓を取り付ける

●右図のような取付口がある場合、アダプターは不要です。
●分岐口有りの場合は、別売品のアダプターを取り付ける。
●分岐口無しの場合は、接続管を取り付ける。

1. フラッシュバルブ本体から接続管を外す。
2. フラッシュバルブ用アダプター（別売品）を取り付ける。
3. 分岐水栓の異径アダプター側をふさぐ。
4. アダプターに分岐水栓を接続する。



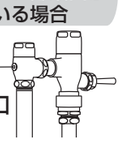


〈別売品：フラッシュバルブ用アダプター〉

フラッシュバルブの形状などにより、使用するアダプターが異なります。

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が付いている場合

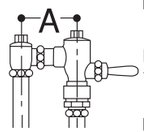
図①



☆ TH343R

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が無い場合

図②

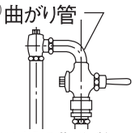


図②のA寸法が120 mmの場合
☆ TH484

図②のA寸法が120 mm以外で、普通形フラッシュバルブの場合
☆ TH502-1R（1S）

図②のA寸法が120 mm以外で、節水形フラッシュバルブの場合
☆ TH347-1R（1S）

図③ 曲がり管



図③のように曲がり管の場合
☆ TH484-1

取付後、水道の元栓を開けてください。

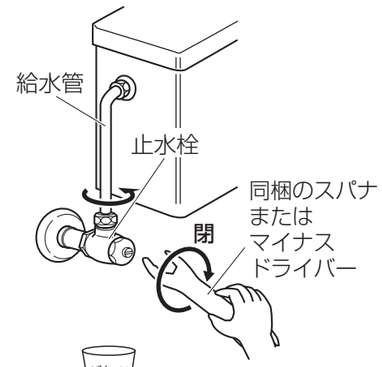
☆は、別売品です。ご購入された販売店へお問合せください。

12ページ　給水ホースを本体に取り付ける

分岐水栓を取り付ける　初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

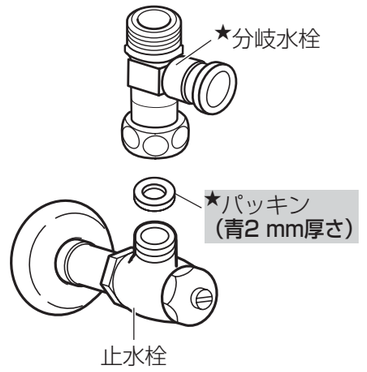
★は、同梱部品です。

❶ 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す



● 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❷ 分岐水栓を止水栓に、取り付ける

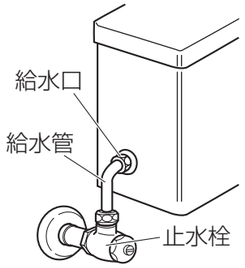


〈分岐水栓の締め付け方〉

11ページ　分岐水栓を取り付ける ❷ 給水管の取り付け

給水管が短い場合、給水管が外れない場合

下記の別売品を販売店で購入してください。



ロータンクの給水口と止水栓の間の距離が短く本体同梱の分岐水栓とフレキシブルパイプが接続できない場合は、別売の分岐水栓を下記に従って接続してください。

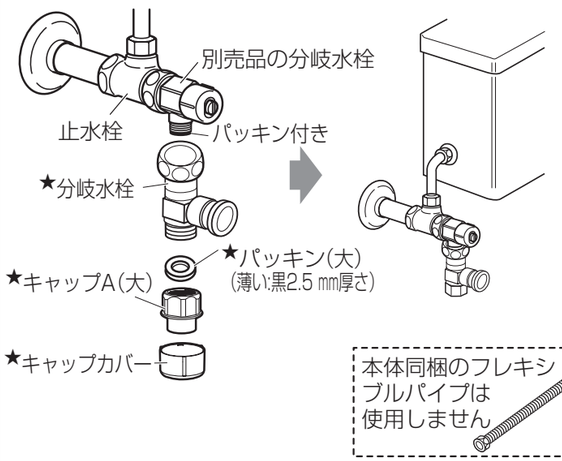
〈別売品〉品番：HOB-DL531A

分岐水栓　1個　　説明書　1枚

❶ 水道の元栓を閉める

❷ 別売品の分岐水栓を取り付ける

❸ 本体同梱の分岐水栓を取り付ける



本体同梱のフレキシブルパイプは使用しません

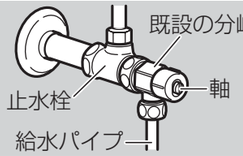
詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

12ページ　給水ホースを本体に取り付ける

分岐水栓を取り付ける　既設の温水洗浄便座　から取り替える場合

★は、同梱部品です。

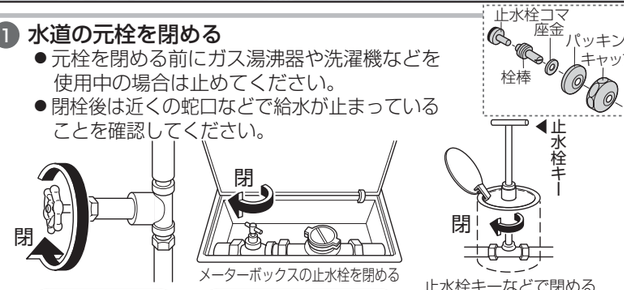
既設の分岐水栓が右図のタイプ Ⓐ

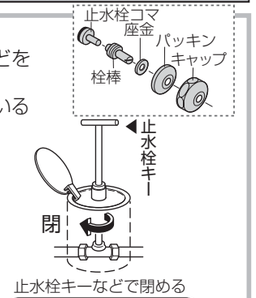


既設の止水栓を元に戻す場合 →□内の部品が必要です。専門業者に依頼してください。

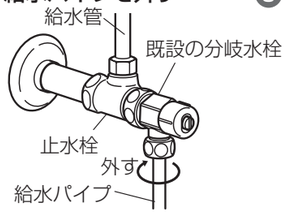
❶ 水道の元栓を閉める

- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。

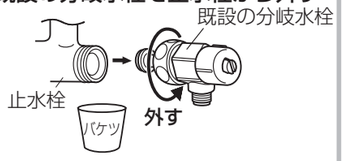




❷ 給水パイプを外す

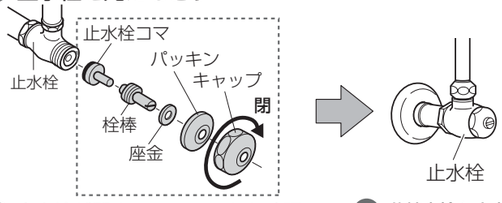


❸ 既設の分岐水栓を止水栓から外す

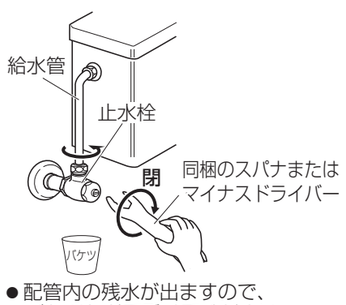


- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❹ 止水栓を元にもどす



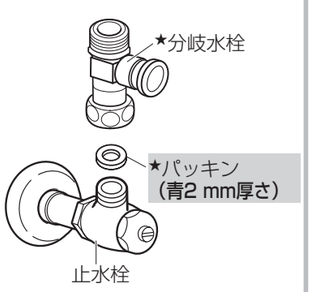
❺ 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す



- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❻ 分岐水栓を止水栓に、取り付ける

〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照

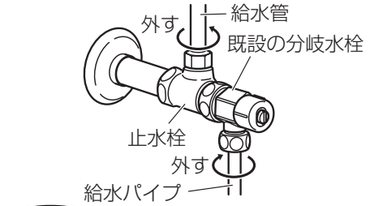


既設の分岐水栓を外さずに取り付ける場合

下図❶の※(口径)に、同梱のキャップセットが合う場合は、下記の手順で取り付けできます。

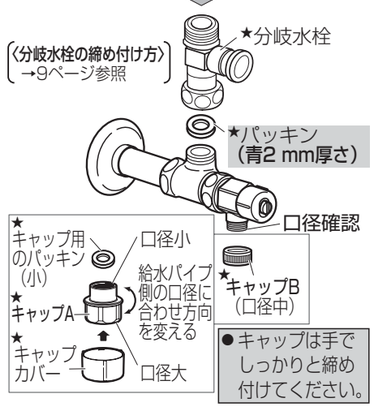
❶ 止水栓が閉まっていることを確認する

❷ 給水管と給水パイプを外し、同梱の分岐水栓を取り付ける



- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照



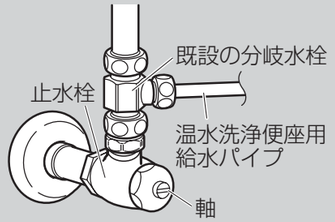
- キャップは手でしっかりと締め付けてください。

●口径に合わせてA,B2種類のキャップ、大小2種類のパッキンから合うものを選んでください。ただし、既設の分岐水栓にパッキンが付いている場合は、同梱のパッキンは使用せず、そのままキャップを取り付けてください。

11ページ　分岐水栓を取り付ける　❷ 給水管の取り付け

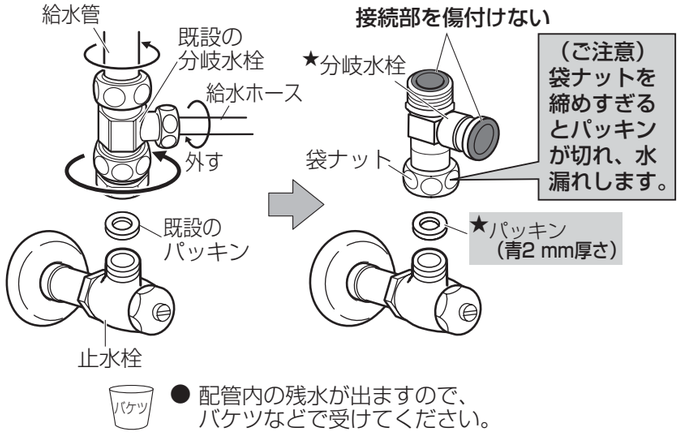
★は、同梱部品です。

既設の分岐水栓が下図のタイプⒷ



❶ 給水管を外してから、同梱の分岐水栓に交換する

〈分岐水栓の締め付け方〉→9ページ参照



バケツ

- 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

❷ 給水管の取り付け

同梱のフレキシブルパイプを使用する場合

同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。
（既にフレキシブルパイプで接続されているトイレの場合は、そのまま使用できます）

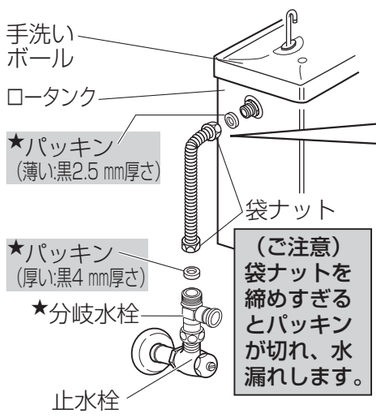
お願い

フレキシブルパイプは

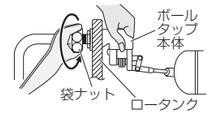
- **曲げ過ぎない**
- **何度も曲げ直さない（折れることがあります）**
- **曲げるときは袋ナットを両端に寄せてからL型に曲げる（袋ナットが移動できなくなります）**
- **切断しない**
- **長さが合わないときは、ホームセンターなどで市販品を購入してください。**

既設の給水管を使用する場合

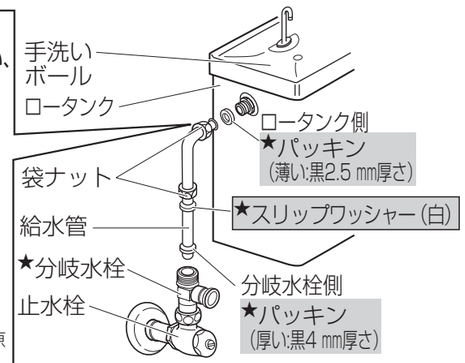
- 分岐水栓側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。（フレア加工している場合は、切断長さに注意）
- 分岐水栓への差込代は約10 mmを必ず確保する。



（ご注意）
ロータンクに水が入らない、止まらないの防止をする



- ボールタップが回転しないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると浮子がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



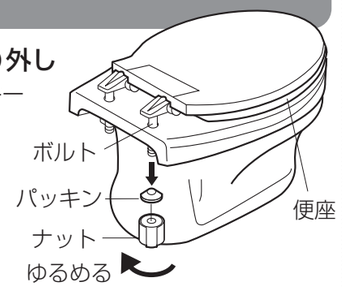
12ページ　本体を取り付ける

本体を取り付ける

下からナット締めができる便器の場合

① 既設便座の取り外し

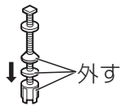
1. ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
2. ナットとパッキンを外し便座を取り外す。



（ナットがさびてゆるまないときは）
- 市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
- 取れないときは、金のこでボルトを切断する。

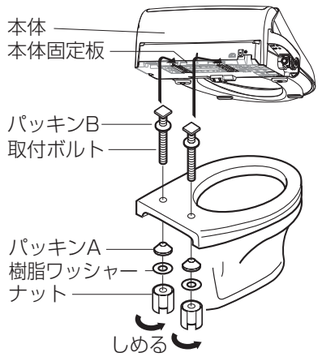
② 本体の取り付け（同梱の取付ボルトセット使用）

1. 取付ボルトからナット・樹脂ワッシャー・パッキンAを外す。
2. 取付ボルトの頭を本体裏面にある本体固定板の溝　に差し込む。
3. パッキンBを上に動かして、本体固定板と取付ボルトを仮固定する。
4. 本体を便器に取り付け、取付ボルトにパッキンA・樹脂ワッシャーの順で取り付けた後、ナットを手でしっかり締め付ける。



（お願い）工具でナットを締め付けないでください。

本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。



取付ボルトが長すぎるときは
- 金のこなどで適当な長さに切断する。

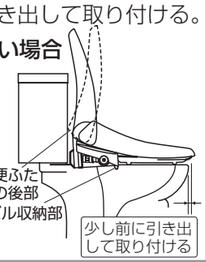
■便ふたの後部がロータンクにすれるまたは強く当たる場合

⇒すれない程度に少し前に引き出して取り付ける。

■便器によって便座が倒れやすい場合

⇒倒れない程度に少し前に引き出して取り付ける。

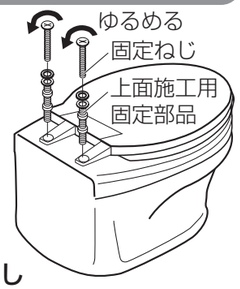
本体裏面のノズル収納部が便器に乗り上げないように注意する。



下からナット締めができない便器の場合

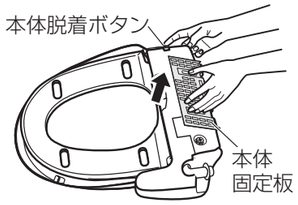
① 既設便座の取り外し

固定ねじ2本をゆるめ、取り外す。
- 取り外した部品は、取り付け時に使用します。



② 本体固定板の取り外し

本体裏面より本体固定板を取り外す。



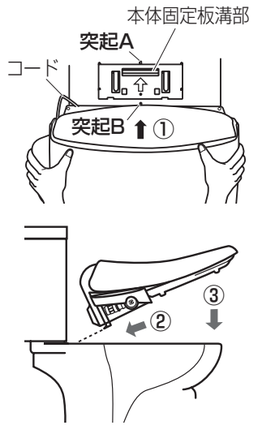
- 本体脱着ボタンを押しながら本体固定板を持ち上げる。

③ 本体固定板の取り付け（既設の部品を使用）

位置を決め、取り外した既設部品を使用し、本体固定板を便器に取り付ける。

④ 本体の取り付け

①右図のように突起Aに突起Bを合わせる。
②手前を浮かせた状態で斜めに差し込む。
③「カチッ」と音がするまで上から押す。
- コードを本体と便器の間にはさみ込まないようにしてください。
- 本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。



本体を便器に設置後、本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

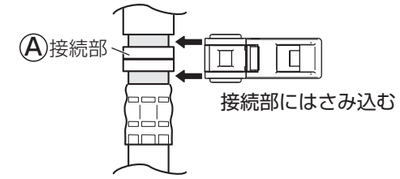
給水ホースを取り付ける

① 分岐水栓への接続

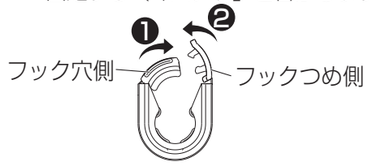
1.給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、分岐水栓の接続口に**まっすぐ**差し込む。

（ご注意）給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。

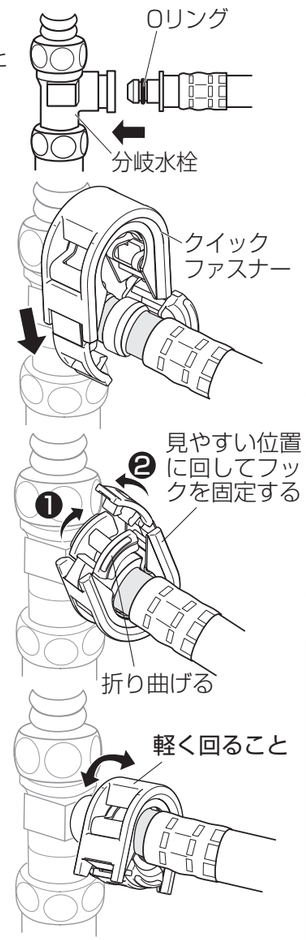
2.クイックファスナーを給水ホースと分岐水栓接続部に確実に奥まで差し込む。
（「パチッ」と音がします）



3.フックを確実に固定する
❶フック穴側を折り曲げる
❷フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する（「パチッ」と音がします）



4.給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。
※軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けされていません。

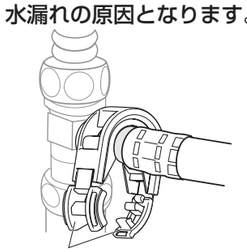


ご注意
- 給水ホースは切断しない
- 給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない
- 本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む
- 付属の結束バンド以外で結束しない
- 給水ホースは小さく曲げない（小さく曲げると折れて水の流れが悪くなるおそれがあります：最小曲げ半径 約10 cm）

お願い
- フックが閉じないときは、Ⓐ接続部に確実に奥まで差し込まれていないため、再度クイックファスナーを差し込み直してください。

悪い接続例

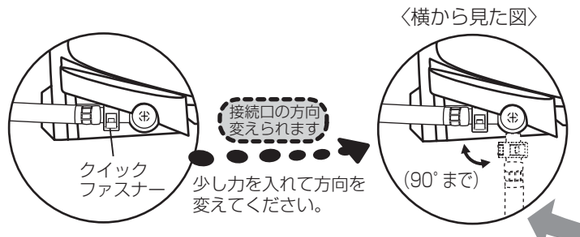
※フックが確実に固定されていないと外れたときに重大な水漏れの原因となります。

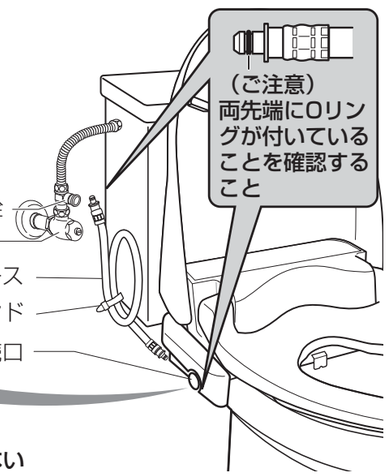


フックが固定されていない

② 本体への接続

- 分岐水栓への接続と同様に給水ホースを本体接続口へクイックファスナーで固定してください。





③ 必ず確認

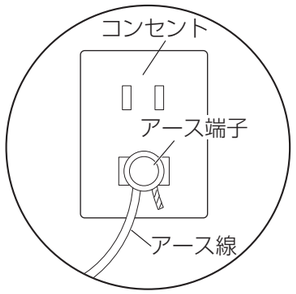
- **クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。**
- **給水ホースを引っ張って、分岐水栓接続口や本体接続口から抜けないことを確認してください。**

取付

アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

（アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください）

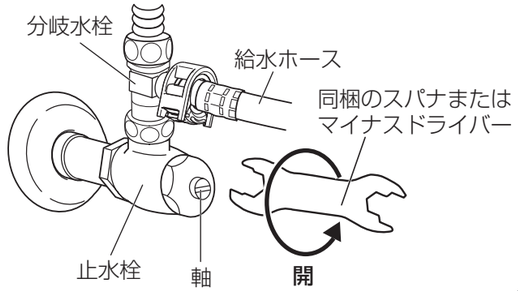


上図はアース付きコンセントの一例です。

止水栓を開ける

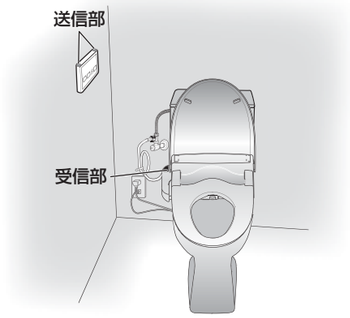
各接続部がきっちりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

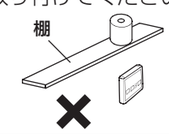


リモコンを取り付け、電源を入れる

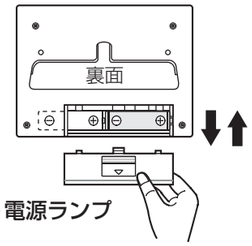
- 本体の受信部側の壁などに取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。
- リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していることを確認してください。



リモコンと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。



❶ リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる



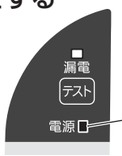
❷ 電源プラグを差し込み、リモコンと本体の送受信確認をする

①電源プラグを差し込む
- 本体の電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する

②リモコンを壁面の取り付けたい位置に合わせ、約10分以内におしりまたはビデスイッチを押す
- 本体の電源ランプが1回点滅する

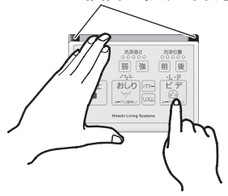
↓

送受信可能な位置です。



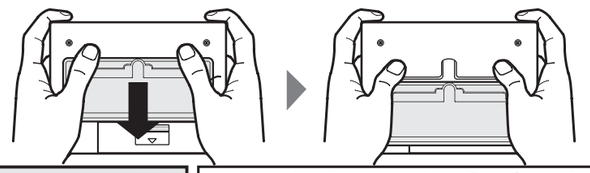
◆ 電源ランプが1回点滅しない場合は、電源プラグを差し込み直して取り付け位置を変更してから再度、送受信確認をしてください。

送信部（黒い部分）

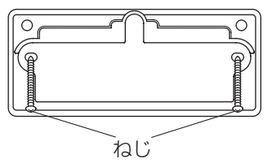
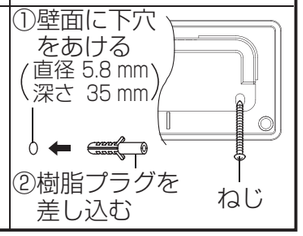
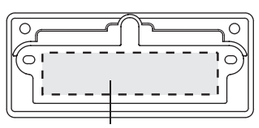


❸ リモコン（リモコンホルダー）を壁面に取り付ける

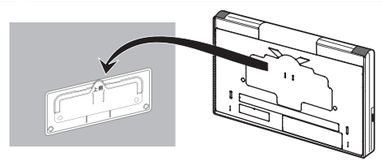
①リモコンからホルダーを外す
- ホルダー上を指で押さえながら下方向にずらして外す



②ホルダーを壁面にねじで取り付ける

A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材	ツルツルで固い平らな壁材（タイル）
●各種合板 ●ビニールクロスなど	●タイル ●石こうボード ●コンクリートなど	●壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。 ●表面がザラザラした壁面や凹凸がある面（クロスなど）に取り付けるとリモコンが落ちる場合があります。
 ●ねじ2本で壁面に取り付ける		

③リモコン裏面の溝を合わせて上から差し込む



④リモコンが取り外せることを確認する（電池交換が必要なため）

取付

試運転

試運転の前に…　水道の元栓、止水栓が開いていることを確認してください。
（十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります）
給水接続部から水漏れがないかを確認してください。

手　順

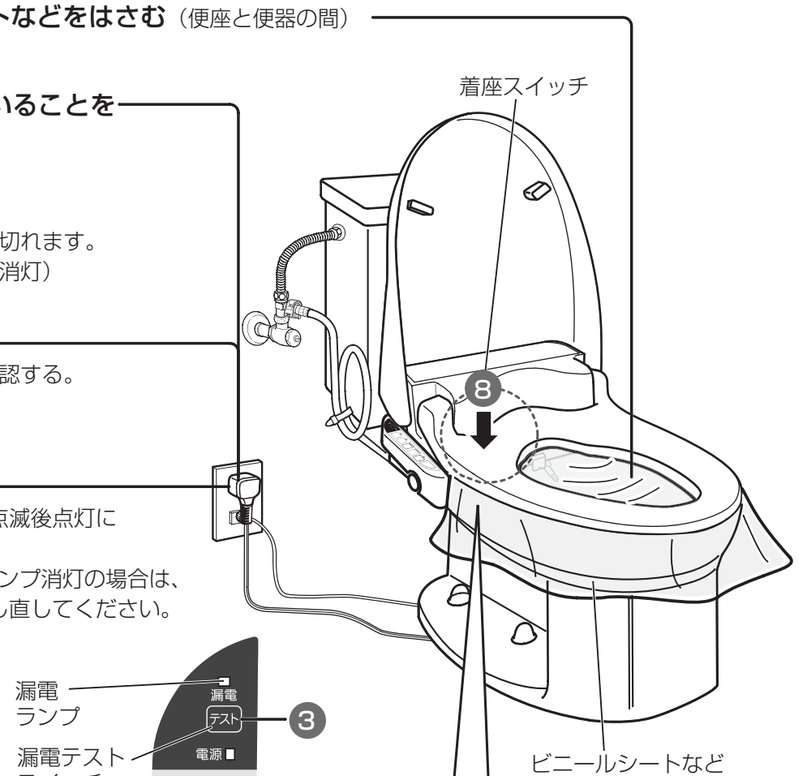
1 本体梱包用のビニールシートなどをはさむ（便座と便器の間）

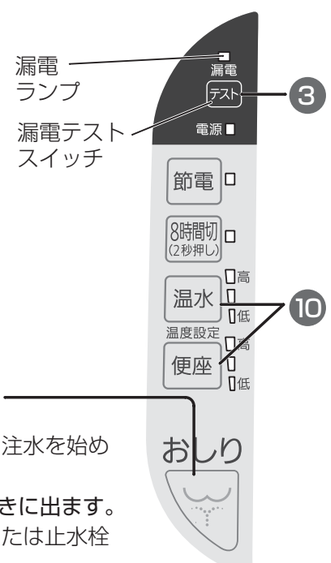
2 電源プラグが差し込まれていることを確認する

3 漏電テストスイッチを押す
- ●漏電検知機能が作動し、電源が切れます。
  （漏電ランプ点灯・電源ランプ消灯）

4 電源プラグを抜く
- ●漏電ランプが消灯することを確認する。

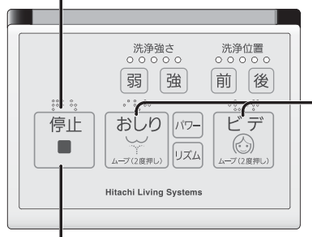
5 電源プラグを差す
- ●本体の電源ランプが約10秒間点滅後点灯に変わります。
  漏電ランプ点灯の場合、電源ランプ消灯の場合は、10秒後に再度電源プラグを差し直してください。





6 本体操作部の　を押す
- ●おしりノズルが出て、タンクに注水を始めます。
  約1分後、ノズルから水が下向きに出ます。
  水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。
- ◎着座スイッチがON状態になっていない場合は、ノズルお手入れ状態になり、水は下向きに出ます。

便座の後ろ脚の両方が浮いている状態が正常です。この浮き（隙間3 mm以上）がないと着座スイッチが「入」になりません。また、便器によっては前脚の片側も浮いている場合がありますが、着座すると接触するため異常ではありません。



7 リモコンの 停止 を押す
- ●ノズルが元に戻ります。

8 便座の左後部を押しながら、リモコンの おしり または ビデ を押す
- ●脱臭が始まります。
- ●ノズルを洗浄し、約3秒後に洗浄水が出ます。
  （着座スイッチがON状態になっていないと、洗浄水が上に出ません）

〈便座の左後部を押さずに本体の　を押した場合〉
ノズルがお手入れ状態になり水が下向きに出ます。
→この場合、リモコンの 停止 を押して、ノズルが収納されるのを確認してください。その後、手順 8 から試運転を行ってください。

9 リモコンの 停止 を押す
- ●ノズルが戻ってからノズルを洗浄する水が出ます。

10 便座 と 温水 のスイッチで温度を設定し、通電約5分後に便座と洗浄水のあたたかさを確認する
- ●ビニールシートの上から手をあて、温水が出ることを確認してください。

11 ビニールシートを外す

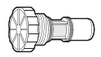
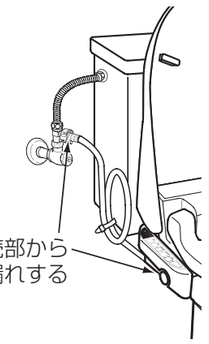
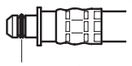
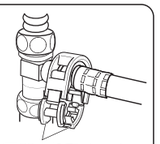
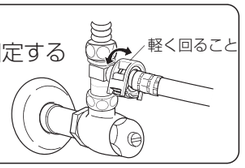
温水タンクの空だき防止装置について

- ●試運転の手順 6 の時点で、本体操作部の温水温度設定ランプの「高」と「低」が同時点滅している場合は、温水タンクの空だき防止装置の**作動**で**故障ではありません。**

〈この場合は…〉
- ・止水栓が開いていることを確認し、電源プラグを抜いて約4～10分待って、再度手順 5 から試運転を行う。

洗浄停止中、ノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水が温まったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。（洗浄後、約7～8分）

こんなときは

現　象	考えられる原因と処置方法		参照ページ
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道の元栓が全開になっていない	水道の元栓を全開にする	10
	止水栓が開になっていない	止水栓を開にする	14
	水道水フィルターがつまっている 	掃除する	取扱説明書
	ロータンクに水が給水中	水が貯まるのを待つ	―
ロータンクの水が入らない、止まらない	ロータンク内の浮子がゆがんでいる	浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す	11
手洗いボールから水はねする	水圧が高く給水量が多い	止水栓を適量に絞る	14
	給水ホース先端のOリングにゴミが付着 	Oリングのゴミを取り除く	13
	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	―
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	11
	クイックファスナーの差し込み不足やずれ 	確実に固定する 	13
電源が入らない	テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（本体の漏電ランプが点灯）	電源プラグを抜き漏電ランプが消灯してから電源プラグを差し込む	16
本体操作部の温水温度設定ランプの「高」と「低」が同時に点滅する	● 止水栓が開になっていない ● 止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込み、温水温度設定を行った	止水栓が開いていることを確認し、電源プラグを抜いて約4～10分待って、その後、再度試運転を行う	17
作動しない	着座スイッチが入ってない（便器に歪みがあります）	同梱の調節パッキンで便器の歪みを調整する	―
天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する		取扱説明書の「ご相談窓口」にご連絡ください	

工事後の注意　凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照）

おしり/ビデ洗浄できない場合は、1、2の項をご確認ください

この部品は、便器の形状により必要になる場合があります。

使用上のご注意とお願い

1. 便座に深く座らないと洗浄水が出ません。

便座後側に人が座ったことを検知するスイッチがあります。
便座に深く座らないと、人が座ったことを検知できないため、「おしり/ビデ洗浄できない」場合があります。

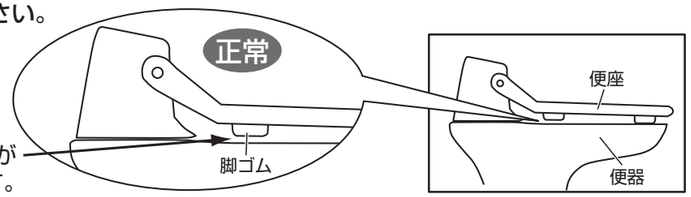
〈好ましい例〉　〈好ましくない例〉

○ 深く座る　× 前に座る　× 前かがみ

×の2例は、重心が便座前側にかかっている

2. 便器の形状によっては、便座に深く座っても洗浄水が出ない場合があります。

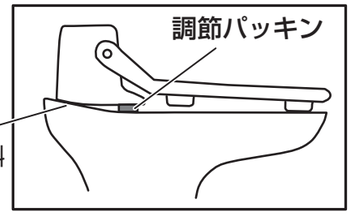
■下記内容をご確認ください。



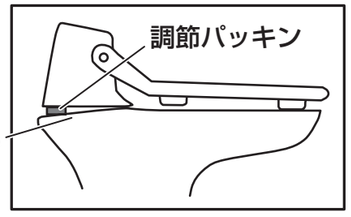
■便器と脚ゴムとの隙間が「3 mm以上」ない場合は、同梱の調節パッキンを下記の要領で取り付けてください。
※調節パッキンは便座脚ゴムには取り付けないでください。

●**調節パッキンの取付方法**（本体の取り外し、取り付けの詳細は、取扱説明書を参照してください。）

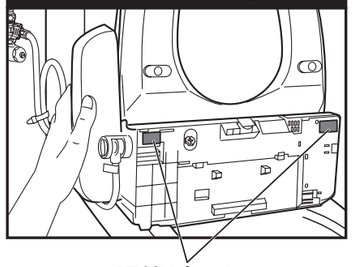
Aパターン……便器が前に傾斜



Bパターン……便器が後ろに傾斜



調節パッキン取付位置



調節パッキン取付位置